

令和3年度の取組み

資料2-1

2022/6/9 企画経理 在原

- 新型コロナウイルス感染症に係る取組
- 救命救急医療
 - ・ドクターヘリ運用要領等の改正(覚知要請の時間短縮化・要請基準統一化)
- 質の高い看護の提供
 - ・看護師の特定行為研修機関の申請認可
- 病院施設の修繕、医療機器等の整備
 - ・電子カルテシステムの更新、院内改修計画に係る医療機器整備支援業務のコンサル契約を締結
 - ・4人床部屋3室を6室に改修。保護室を8床増床。(北病院)
- 患者サービスの向上
 - ・外来会計窓口の直営化、採血採尿自動受付機の導入による待ち時間の短縮
 - ・マイナンバーカードによるオンライン資格確認システム、電子版かかりつけ連携手帳への対応
- 職場環境の整備(働き方改革の推進)
 - ・年休取得促進、医師事務補助職員の処遇改善(4月1日)、職員駐車場の増設(22台)
- 災害時における医療救護
 - ・洪水対策(止水板及びコンクリート壁設置)、災害対策センターの設置(4月1日)

新型コロナウイルス感染症に係る取組

1. 治療・検査体制の強化

【中央病院】

- ① 新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、各フェーズに対応した陽性患者用病床の確保・受入
- ② 令和3年8月の患者急増の際は、コロナ病床を45床から60床に拡大
- ③ 中等症以上の患者を中心に、令和3年度は465名を治療。令和元年度から累計で605名を治療
- ④ 令和2年2月から、情報共有のため、毎週月曜日朝7:30より、多職種によるコロナ対策会議を開催
- ⑤ 365日24時間体制の発熱外来において、PCR検査に加え、コロナ、インフルを含む21種類のウイルス・細菌を50分で検出できる機器「フィルムアレイ」を稼働させ、高感度で迅速な検査体制を構築
- ⑥ 令和3年度の新型コロナウイルス感染症の院内検査実績は、PCR検査16,618件、フィルムアレイ等迅速PCR検査9,395件、抗原検査12,918件、抗体検査11,976件、総計50,907件
- ⑦ GeneXpert増設及びFilmArrayのモジュール追加により、1日の最大検査数120件→180件に拡大
- ⑧ 新型コロナウイルス感染症患者から採取した検体の遺伝子配列を1289例解析し、アルファ株273例、ガンマ株1例、デルタ株392例、オミクロン株464例を確認した。ガンマ株は検疫以外で国内初確認
- ⑨ 令和3年6月から、新型コロナウイルス変異株疑いのある検体に係る全ゲノム解析を737件実施
令和4年2月に県内で初めて、オミクロン株BA.2系統を確認
- ⑩ 感染拡大に対応するため、コメディカル及び事務局において、BCP計画を見直し

【北病院】

- 令和3年10月からアルコール病棟を精神障害患者の新型コロナウイルス感染症患者用病床として、9床確保し、令和3年度は2名治療

2. 院内感染防止(患者さん等)

- ① 令和2年3月から全部署の換気確認を開始。
- ② 令和2年4月に3密を避けるため患者待合席及び病棟デイルームの椅子を整理
- ③ 令和2年4月から入院予定患者の入院前PCR検査を実施。令和3年度は、6,350件実施
緊急入院の患者については、PCR検査の結果が判明するまでは必ず個室入院させることとした。
- ④ 令和2年4月から外来手術処置患者の手術前PCR検査を実施。令和3年度は、850件実施
- ⑤ 令和2年8月から付き添い家族へのPCR検査を実施。令和3年度は、276件実施
- ⑥ 令和2年5月から入院患者全員のマスク着用推進
- ⑦ 令和2年5月から来院者すべての正面玄関入口における体温測定 of 徹底
- ⑧ 令和2年11月から面会を原則禁止とし、オンライン面会を開始
令和3年度のオンライン面会の利用者は、411件
- ⑨ 委託事業者及び来客者へのPCR検査等を実施。令和3年度は、1,195件実施

3. 院内感染防止(職員)

- ① 令和3年4月新規採用職員及び異動職員に対する事前PCR検査を実施
- ② 令和2年4月から全職員が毎日体温測定を行い、発熱状況を見える化した体温モニタリングを実施
- ③ 院内感染防止及び福利厚生の一環として、令和3年度も希望する職員197名に対して、休暇前後の新型コロナウイルスのPCR検査、抗体検査を実施
- ④ 令和3年度に院内で職員等の感染が確認された際に、職員、職員家族、患者に対して、1,495件のPCR検査等を実施
- ⑤ 令和3年3月から職員延べ4,000名、委託事業者延べ888名にワクチン接種を実施

4. 県への協力

- ① 令和3年4月から山梨版CDCに、当院医師延べ24日間派遣
- ② 新型コロナウイルス感染症関係係総合対策本部に、DMAT隊員延べ155名を派遣
- ③ クラスタが発生した韮崎市の障害者支援施設に、DMAT隊員等延べ140名を派遣
- ④ 県内施設で新型コロナウイルス感染症が発生した際に、19施設延べ177名の看護師等を派遣
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い医療体制が逼迫した兵庫県、沖縄県に看護師各1名を派遣
- ⑥ 宿泊療養施設からの医師オンコール業務を受託
- ⑦ 入所者が急増した宿泊療養施設に、看護師が確保できるまで、急遽、看護師延べ10名を派遣
- ⑧ 宿泊療養施設において、「医療強化型」を展開するにあたり、医師、看護師等延べ49名を派遣
- ⑨ 医療従事者延べ826名にワクチンを接種
- ⑩ 県立大学学生・教員延べ326名にワクチンを接種
- ⑪ 富士見支援養護学校職員延べ46名にワクチンを接種
- ⑫ 県内保育士延べ571名にワクチンを接種
- ⑬ 基本型接種施設として、延べ73施設に医療従事者等向けのワクチンの管理・分配を実施
- ⑭ 新型コロナウイルス変異株疑いのある検体737件の全ゲノム解析を実施。オミクロン株BA. 2系統を確認

5. 市町村・地域への協力

- ① 甲府市等からの依頼により、アレルギー等により集団接種が困難な41名にワクチンを接種
- ② 接種医、かかりつけ医からのワクチン接種後の副反応の相談支援を実施
- ③ 県民及び医療従事者等を対象としたWeb公開講座「県民に伝えたい医療最前線 新型コロナウイルス」を開催。209名（院外115名、院内94名）が視聴。後日、You Tubeで録画公開を実施

これら取り組みにより、新型コロナウイルスによる診療の中止や縮小を行うことなく、病院機能を維持

R4年度計画の新たな取り組み

①【中央病院】3R整備(Walk-in OR・HEOR・HOR)、Robotic Surgery推進

炎症性腸疾患(IBD)センター設置

3S(Service, Speciality, Speed)の追求

“徹底的に接遇に磨き”をかけるプロジェクト

【北病院】 救急体制・依存症治療・重症例受入の強化

② 新型コロナウイルス感染症～Genomic Medicine & Epidemiology～

- ・重点医療機関として、更なる病院の機能強化
- ・感染症専門人材の育成支援
- ・県への専門医派遣、県と連携・協働した感染症対策の推進

③ 働き方改革推進

- ・DXの活用(AIを用いた画像診断、レセプトチェックシステムの導入)
- ・看護師特定行為研修機関の開講による看護師育成
- ・コメディカルの資格取得支援によるタスクシェア